



「わが村は美しく - 北海道」運動 第11回コンクール

『藻場再生活動』の実践・普及

北海道開発局長表彰 / 地方創生のモデル



前列左2人目から、中井審査委員長、田代輝さん、小林強太さん、白川浩治会長、松井町長、坂場開発局長

全国受賞歴

2021年	第26回全国青年・女性漁業者交流大会 【農林水産大臣賞】 令和2年度浜の活力再生プラン 【水産庁長官賞】
2022年	令和4年度全国過疎地域持続的発展優良事例表彰 【全国過疎地域連盟会長賞】

「地域資源を活用した実践活動が、地域の経済波及効果と全国的な普及を先導し、官民連携による全国の地方創生モデルとして期待されています」と講評がありました。

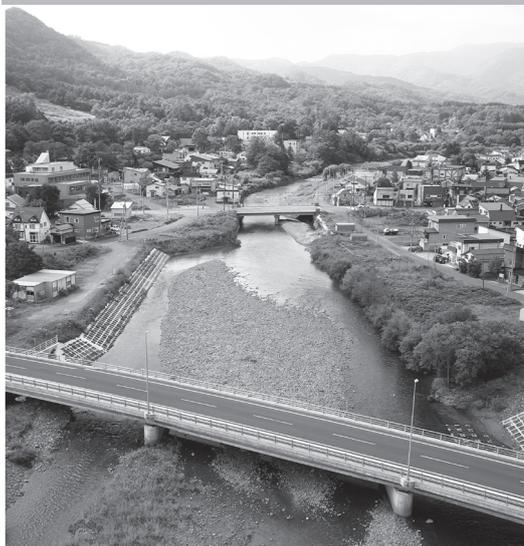
このコンクールは、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動が、農山村の振興に寄与し、自然的・社会的・歴史的に特徴ある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」次世代につなぐことを目指す北海道開発局の歴史ある表彰です。

両協議会は、①廃棄物のウニ殻を利用して藻場を再生し、ウニの生産量と品質を向上させる循環型再生産システムを実践。②Jブルークレジット®の認証を受け、販売収入を実践活動へ還元。③漁業者・民間企業・行政が連携した海洋環境保全の重要性の発信などが高く評価されました。

北海道開発局主催「わが村は美しく - 北海道」運動第11回コンクールで、藻場の再生活動に取り組む「美国・美しい海づくり協議会」（白川浩治会長）／「余別・海HUGくみたい」（澤貴幸会長）が全道12団体の優秀賞の中から、最高賞の「大賞」に選ばれ、坂場武彦国土交通省北海道開発局長から表彰されました。

60年越しの懸案課題解決に向けて

美国川河川改修工事説明会



今年度の美国川河川改修工事の説明会が10月29日、町総合文化センターで開かれました。

道後志総合振興局小樽建設管理部から、国道美国橋上流右岸（寺町側）の護岸工事と町道（東浦町内）流雪溝排水樋門工事など来年3月までの工事内容や、未着工の栄町堤防通り町道代替工事計画など令和7年度以降の事業計画の説明がありました。

また、河川改修事業計画区域内の一部用地の未処理状況について、町外者全員の承諾が整っていない状況についての説明がありました。

町も北海道と協力して、用地処理の早期解決に努めています。



奮闘！積丹アスリート・バドミントン

男子ダブルス 全国大会出場！

NIKKIJR（仁木町）の一員として、仁木町・古平町・積丹町の仲間と切磋琢磨し合う住出潤汰さん（美国小6年）が、9月14・15日に札幌市で開かれた「なの花薬局カップ第43回北海道小学生バドミントン大会」において6年生以下男子ダブルスで3位の成績を収め、全国大会への出場権を手にしました！

全国大会は、12月24日より兵庫県で行われ、住出さんは、27日が初戦です。



▲住出潤汰さん（写真右） ※パートナーは町外選手



●大会へ向けた意気込み
「初の全国大会で緊張していますが、2人で気持ちをはひとつにして良い報告ができるように頑張ります。」

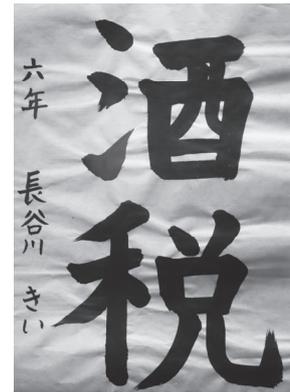
地域の伝統を次の世代へ
積丹町の鰯漁を教材に

後志社会科研究協議会が主催する研究授業が10月4日、日司小学校で行われ、管内の社会科教員が授業の参観をしました。

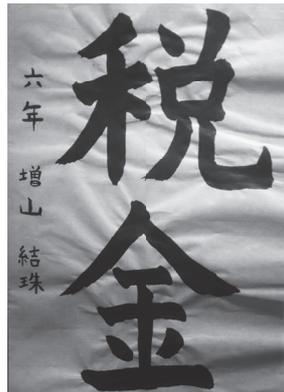
授業は「昔から今へと続くまちづくり」の単元で、積丹町が鰯漁で栄えたまちであることを捉え、当時の人々の暮らしの様子や道具について調べ、地域の発展に尽くした先人の工夫や努力を学ぶ内容でした。



この授業は、10月25日に函館市で行われた北海道社会科研究大会の分科会でも発表され、積丹町の歩みが全道に紹介されました。



▲長谷川きいさん（美国小6年）
余市地方法人会長賞



▲増山 結珠さん（美国小6年）
余市税務署長賞

「小学生の税に関する書道展」
「税に関する絵はがきコンクール」
作品展示

「税を考える週間」（11月11日～17日）の一環で、余市税務署主催の「小学生の税に関する書道展」と余市地方法人会女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」に町内小学校から「書道」22点、「絵はがき」1点の応募がありました。

北後志5町村から応募された書道249作品から、当町の増山結珠さん（美国小6年）が「余市税務署長賞」

を、長谷川きいさん（美国小6年）が「余市地方法人会長賞」に入選しました。

各校の応募作品は、11月8日～17日の間、総合文化センターで展示されました。

